

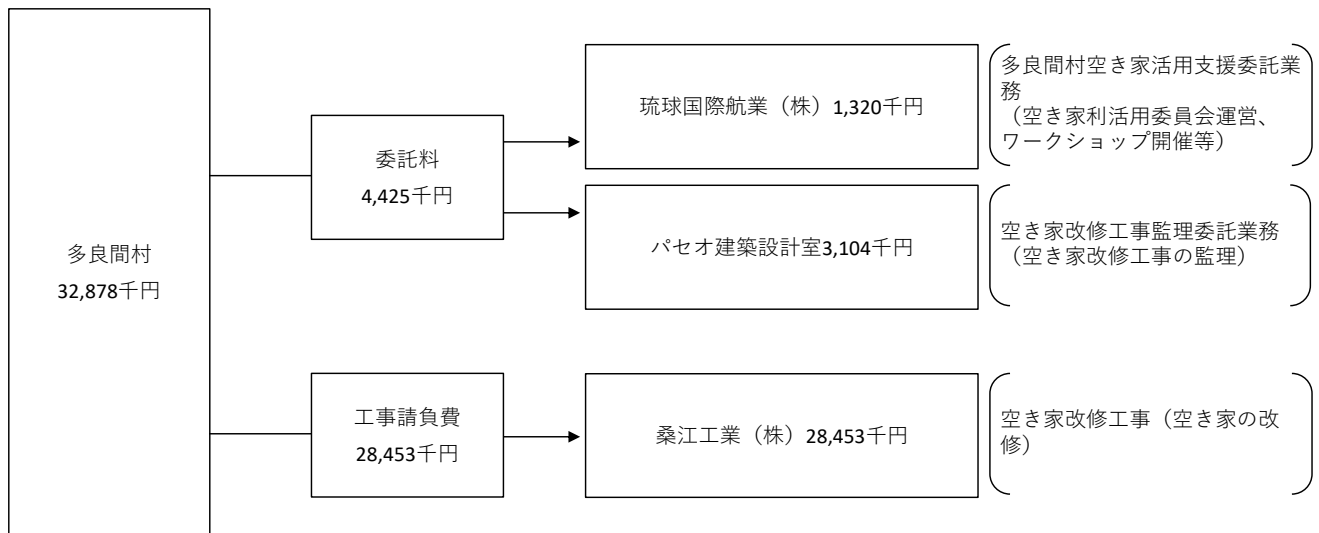
市町村名	多良間村					
令和2年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート						
事業名	空き家を活用した移住者受入環境整備事業				事業類型	<input type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他
担当部課名	総務財政課				事業実施(予定)年度	平成29～令和2年度
事業内容	移住者の住宅を確保し、定住促進を図るため、村内の空き家を改修し賃貸住宅として活用する。					
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他			
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度
	(a) 当初予算額	9,720		7,236	-	27,236
	(b) 予算現額	9,720		7,236	-	35,689
	(c) 増減額(b-a)	0		0	-	8,453
	(d) 繰越額	0		0	7,236	0
	A. 計(b+d)	9,720		7,236	7,236	35,689
	B. 執行済額	9,504		0	2,912	32,878
	うち補助金充当額	7,603		0	2,329	26,301
	次年度繰越額	0		7,236	0	0
	執行率(%) (B/A)	97.8%		0.0%	40.2%	92.1%
予算の状況の説明	概ね当初計画通りの予算執行状況であった。不用額2,811千円については、次の改修に向けての調査・改修設計を計画していたが、空き家候補が確保が出来なかったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		H30年度	R1年度	R2年度	
	空き家利活用計画策定完了	目標	(1件)	()	()	()
		実績	1件			
	空き家調査・改修設計完了	目標	()	()	(1件)	(1件)
		実績			1件	0件
	空き家改修工事完了	目標	()	()	()	(1件)
実績					1件	
達成状況説明	○R1年度(繰越)で改修設計を行った空き家(物件A:字仲筋)の改修工事を行い、R3年3月に完了した。 ○住民参加型のワークショップをR3年3月開催し、取組周知による利用可能空き家の掘り起こし、地域における移住者受入体制の強化を行った。 ○空き家(物件B:字塩川)の調査・改修設計を計画していたが、登記簿上の整理及び権利者確認に、想定外の時間を要したため、空き家候補が確保できなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R3年度)
	定住促進住宅へ入居する移住世帯数	目標	()	()	()	(1世帯)
		実績				-
	進捗状況説明	H29年度で策定した空き家利活用計画に基づき、所有者との交渉や改修工事を行い、空き家を定住促進住宅として活用していく。現時点では、7件の入居相談がある。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○R1年度(繰越)で実施した改修設計の結果、老朽化した箇所が多く、安全性等を確保するための経費(工事請負費)を増額する必要が生じた。	○事業の企画・立案段階で事業遂行に影響を与える要因を把握し、想定外の阻害要因に対応するため、事業期間に余裕をもって計画を立てる必要がある。 ○引き続き、利活用可能な空き家を確保するため、空き家の貸し出しについて所有者の理解を得る必要がある。
	○改修工事を行った空き家とは別にもう1件策定する予定であったが、登記簿上の整理及び権利者確認に、想定外の時間を要し、利活用可能な空き家の確保が出来なかった。	
	○入居相談7件に対し、定住促進住宅は1戸のみの整備にとどまっている。現在、村内の利活用可能な空き家を把握出来ていないが、引き続き、利活用可能な空き家を確保し、更なる利活用につなげていくことが課題となる。	

今後の取り組み方針
○事業遂行にあたり、影響を与える様々な外部要因に対応し、策定した空き家利活用計画をもとに、更なる空き家の改修設計、工事に繋げる。
○整備した空き家活用住宅に入居する入居者を確保するため、入居者募集の案内の周知を広く行う。
○空き家を貸し出すメリットや地域を維持するために移住者の誘致が必要であること等を所有者に対して丁寧に説明し、空き家貸し出しの同意を得られるよう努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金		補助対象外経費
		充当額	市町村負担金	
32,878	32,878	26,301	6,577	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	不用額は次の空家候補が確保出来なかったためであり、予算額は事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。